学芸発表会を終えて　～伊藤学園～

10月26日（土）午後、学芸発表会最後を飾る、７年生、６組、８年生、９年生による合唱コンクールの部が行われました。

この日のために、各クラスは、音楽の授業を中心に、放課後練習、昼休み練習、自宅での個人練習を重ね、長くても５分ほどの１曲に、思いを込めて準備してきました。

７年１組が元気いっぱいリズムに乗って歌い、トップバッターを飾ると、早くもアリーナ１の生徒も保護者も熱心に耳を傾けて聴き入り、会場の雰囲気がグッと締まる様子を肌に感じました。続く７年生と６組が一生懸命に歌う姿に刺激をうけたのか、８年生はリハーサルを超えた力強い歌声を届けてくれました。

そして、一番感慨深かったのは９年生の成長です。コロナ禍の影響もあって、歌う経験の乏しかった彼らは、２年前、人前で声を出すことに非常に苦労した学年でした。その年の合唱コンクールで上級生の姿を見て、声を張ることがカッコいいことに気がついた１年前。そして、今年は選曲の時点から熱量が高く、豊かな声量と深い歌詞の解釈を追求する姿がありました。クラスごとのライバル心がプラスに働き、学年の合唱の質を高め合い、当日に最上級生として下級生の記憶にその姿を残し、役割を果たせたことを何より嬉しく思います。

コロナ禍の厳しい制限がなくなって、２年目の今年、身近な友情から世界の平和まで、合唱という形で分かち合えるひとときが、どれほど価値のあることなのか、改めて実感できる１日となりました。

（伊藤学園　音楽科教員　田中伊津子　記）

冨士見祭　～冨士見台中学校～

10月25日（金）、26日（土）に、本校の文化祭である冨士見祭が開催されました。本年度も、合唱コンクール、舞台発表、展示の３部門の同時開催となりました。

合唱コンクールでは、学年合唱と各クラスの課題曲・自由曲の発表がありました。授業だけでなく放課後にも練習を重ねた成果を存分に発揮しました。特に９年生の学年合唱は、思わず会場から詠嘆がもれたほどでした。最高学年として圧巻の歌声を響かせました。

舞台発表の部では、有志合唱、英語スピーチ、中学生の主張、広島平和派遣報告、ニュージーランド海外派遣報告、ダンスレクリエーションサークル、吹奏楽部の演奏が行われました。どの出演者も冨士見祭に向けて一生懸命練習しており、見応えのあるステージとなりました。

展示の部では、各教科の内容を中心とした日頃の学習成果の展示、文化系部活を中心とした展示、ウェルビーイングに関する内容の展示発表が行われました。生徒鑑賞の日程も設定され、お互いの作品に対して、「この作品が良いね」などの声が聞かれました。

今年も実行委員を中心として、生徒主体となる冨士見祭を開催することができました。また、当日は多くの保護者にご参観いただきありがとうございました。さまざまな協力があり、今年も大成功の冨士見祭となりました。

（冨士見台中学校　文化的行事委員長　数学科教員　十川修一　音楽科教員　牛山太郎　記 ）

～わが町クイズラリーのお知らせ～

クイズラリー台紙に書かれた地図を頼りに、クイズの答えを探し出そう！

【期間】令和７年２月１日(土)～令和７年３月１日(土)　【対象】地域の親子(孫)

※台紙配布場所など詳しくは大井第三地域センターHP・開催チラシをご覧ください。

主催：青少年対策大井第三地区委員会

大井鹿島町会「こどもまつり」もりあがる！

11月17日（日）、大井鹿島公園でこどもまつりを行いました。初めての屋外開催でしたが、好天に恵まれ、今までで最も多くの方々にご参加いただきました。公園内の水風船ヨーヨー釣りやバルーンアート、輪投げなどのコーナーでは小さなお子さんたちが元気に楽しんでくれました。ポップコーンも大人気でした。

今回は災害時の対応を意識し、炊き出しとして豚汁やおにぎりを配付したほか、パッククッキングのオムライスの実演と試食もあり、親子で食べていただきました。公園内の町会防災倉庫に準備している災害対応機材や生活用品などの展示も行いました。

また、今回から町会の催しの運営サポートしていただく「もりあげ隊」として３名の方の申し出があり、豚汁やポップコーンのコーナーを盛り上げていただきました。他にも、区の「町会伴走支援プログラム」を担当するダイナックス都市環境研究所の方々がパッククッキングの実演や子どもたちへの指導などをしてくださいました。

これを機会に町会活動の輪を広げて、地域で楽しむ機会をたくさんつくっていきたいと考えております。

（大井鹿島町会事業部長　高山峰美　記）

第14回原まつり開催

11月10日（日）10時～14時半に原まつりを実施しました。ウェルカムセンター原では、コロナ禍を除いて毎年11月第二日曜日に、利用団体や地域の皆さんと賑やかに開催しています。スポーツ室では、当施設を利用している10団体が日頃の成果を発表する場として歌や踊り、演武等を披露しました。老若男女の出演者が家族や友人たちが見守る中で一生懸命演技しました。また、グラウンドでは利用団体のアンフィニ大井ＦＣ、ＵＣＦＵＪＩＭＩＤＡＩ、西大井福祉園、もったいない塾の方々による模擬店が大好評でした。また大井第三地区委員会有志によるバルーンアートもあり、親子連れや友人同士の来場者が楽しむ様子が見られました。駐輪場を朝から担当していただいた西大井ウインズと地区委員会の有志の方々もありがとうございました。朝は雲が多く開始直前にはパラパラと雨粒もあり天候が心配されましたが、途中で晴れ間もあり何とか無事に終えることができました。前日準備から当日の片付けまでご協力いただいた皆さんのおかげで今年も無事に終わりました。皆さんお疲れさまでした、ありがとうございました。

（ウェルカムセンター原・交流施設　事務局　記）

今までありがとう！伊藤幼稚園（第3回）

伊藤幼稚園の園庭は大きさこそコンパクトですが、とても豊かな自然環境になっています。歴代の先生や保護者の皆様が子どもたちのために様々な木を植えてきてくださいました。子どもたちは２年間の園生活の中で、たくさんの実のなる木から収穫しては遊びに使ったり、それらを味わったりしながら日本の四季を感じています。最後の１年もウメ、ビワ、クワ、グミ、レモン、ヒメリンゴ、ミカン、カキ、ユズ、キンカンがたわわに実ってくれました。　（伊藤幼稚園副園長　坂井憲一郎　記）

＊品川区のホームページでカラー版と既刊がご覧いただけます。